

第九十回 帝國議會 貴族院 戰時補償特別措置法案特別委員會議事速記第一號

付託議案

○戰時補償特別措置法案

○金融機關再建整備法案

○特別和議法案

○大藏省預金部等損失特別處理法案

○厚生年金保險法及び船員保險法特別例案

○企業再建整備法案

○財産稅法案

○財産稅等收入金特別會計法案

○企業整備資金措置法を廢止する等の法律案

○帝國鐵道會計又は通信事業特別會計における昭和二十一年度の經費支辨のための借入金等に關する法律案

○復興金融公庫及び産業復興營業團出資拂込金支辨のための公債發行に關する法律案

○自作農創設特別措置特別會計法案

委員氏名

委員長

副委員長

三土 忠造君

男爵高崎 弓彦君

侯爵池田 宣政君

侯爵西郷吉之助君

侯爵鍋島 直泰君

伯爵二荒 芳徳君

伯爵黒田 清君

子爵大河内純耕君

子爵京極 高修君

子爵磯脇 宏光君

子爵綾小路 護君

子爵梅溪 通虎君

慶松勝左衛門君

男爵周布 兼道君

長谷川越夫君

男爵八代五郎造君
男爵中村 貫之君
男爵林 忠一君
男爵倉富 鈞君
男爵宮原 旭君
黒田 英雄君
板谷 順助君
橋本辰二郎君
名取 和作君
河西豐太郎君
小山 完善君
高橋龍太郎君
有馬忠三郎君
中島徳太郎君
片岡 直方君
片岡兼太郎君
河端作兵衛君
岸本 彦衛君
松岡 潤吉君
小汀 利得君
上野嘉左衛門君

昭和二十一年十月七日(月曜日)午前
十時十九分開會

○委員長(三土忠造君) ソレヂヤ是ヨリ委員會ヲ開キマス、澤山ノ議案ガアリマスルガ、先ヅ戰時補償特別措置法案、金融機關再建整備法案、企業再建整備法案、特別和議法案、此ノ四ツガ關聯ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、先ヅ是ダケヲ先ニ議題トシテ質問ヲ願ヒ、其ノ次ニ財産稅法案ニ付テ、後ハ細カナモノデアリマスカラ後又御相談スルコトニ致シマシテ、先ニ申上ゲタ四點ニ付テ御質問願ヒタイト思ヒマス、如何デセウカ、政府ノ御説明ヲモウ一遍伺ヒマスカ、昨日ハツキリシタヤウナモノデアリマスガ、陸國務大臣

ノ説明ハ非常ニハツキリシテ居リ大體分ツタト思ヒマスカラ、直ニ質問ニ入ツタラ如何デセウカ、御異議ガザイマセスカ

○委員(三土忠造君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○委員長(三土忠造君) 御異議ナシト認メマス、ソレデハサウ致シマス

○板谷順助君 私人簡單ニ質疑ニ入ルニ先キ立チマシテ、政府當局ニ對シテ、議事進行ニ付テ質問シタイト思フノデアリマスガ、宜シウゴザイマス

○委員(三土忠造君) 宜シウゴザイマス

○板谷順助君 是等ノ法案ハ略合國ノ關係モアリ、或ハ政府ニ於テモ非常ニ御苦心ヲセラレタコトと思フノデアリマスルガ、豫メヨリ政府ガ發表サレタ所ノ所謂構想ト、又此ノ法案ヲ見マスト云フト、勅令ハ僅カデアリマスルガ、大體ニ於テ命令ニ依ツテ定ムト云フ簡條多クイデアリマス、從ツテ此ノ命令ト云フモノガ分ラナレバ、我々ハ此ノ全貌ヲ明瞭ニ理解スルコトガ困難デアリ、又政府ニ於テモ此ノ法案ハ早急ニ作ツタノデアリカラ缺點モアリ、或ハ不備モアルト云フコトヲ仰シヤル、ソコデ我々ハ之ヲ審議スル上ニ必要ガアリマスルケレドモ、會期ガ逼迫シテ居ルノデアリマスルガ、併シ一面ニ於テ此ノ重大法案、即チ國民ノ負擔ヲ増スコトニ付テノ重大ノ案デアリマスルカラ、我々トシテハ國民ノ怨嗟ノ聲ノ起ラナイヤウニ、最も公平ニ審議セネバナラヌ必要ヲ感ズルノデアリマス

ス、或場合ニ依リマシテハ政府ノ答辯如何ニ依ツテハ修正案ヲ提出スル必要アルカモ知レス、ソコデ政府ノ此ノ原案ハ昨日ノ大藏大臣ノ説明ニ依リマス、云フト、免稅額十萬圓ヲ五萬圓ニ引下ゲルコト、ガアルカモ知レタコト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマス

ルガ、今後此ノ法案ヲ實施スル上ニ於キマシテ非常ニ困難ガ伴ヒ、或ハ實情ニ即シナイト云フ場合モ起ルカモ知レタス、又從ツテ我々國ノ現在ノ國情ヲ聯合軍ニ能ク了解セシメル必要モアルノデアリマスルガ、政府ノ原案ト致シマシテハ、是ハ確定的ノモノデナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(膳桂之助君) 御答ヘ申上ゲマスガ、此ノ法案ノ中ノ勅令、省令等ニ關ツテ居リマスル部分ノ多クイハ、只今御質問ノ通りデアリマシテ、尙是等ノ内容等ニ付キマシテハ、何レ大藏、商工當局カラ其ノ内容ニ付テノ御説明モ申上ゲ、又内容ヲ書キタモノヲ差上ゲル豫定ニナツタ居リマス、尙只今御質問ノ御本旨デアリマスル此ノ法律案ハ、確定的ノモノデアリカドウカト云フコトデアリマスルガ、只今ノ御尋ニ關聯致シマシタコトデ、斯ウ云ハ諸般ノ情勢カラ鑑ミマシテ、又之ヲ最も適正ト考ヘタ確定的ノ案デゴザイマス、假ニ是ガ若シ財産稅等ノ問題ガ、將來財産稅收入ノ模樣等ニ依リマシテ、多少範圍ノ擴張ノヤウナコトガアリマシテモ、ソレハ別箇ノ問題トヤ

マシテ、將來別ノ法制デ立テルト云フコトデアリマス、今回提出致シマシタ一聯ノ法律案ハ、是デ確定的ノモノデアリ、又昨日モ總理大臣ガ提案ノ理由ノ中ニ説明ガアリマシタ通り、此ノ非常時の立法ハ、是デ一貫スル積デアリマス、御了承願ヒマス

○委員(三土忠造君) 御質問ノ順序ハ片岡君、大河内君、橋本君ガ今申込シテ居ラレマスガ、其ノ外ノ方ガ御申出デニナリマスルニハ、成ルベク先刻二荒伯爵ヲ仰ツシヤツタヤウニ、質問ノ内容ヲトビツクスニダケヲ書イテ戴クト、都合ガ好カラウト思ヒマス

○片岡直方君 ソレデハ私質問サンテ戴キマス、第一番ニ御質問申シタイコトハ、此ノ補償打切りニ依リマスル債權者負擔ノ問題デアリマス、具體的ニ申シマスルト、補償打切りト云フ問題ニ伴ヒマシテ、債權者ノ損失負擔スル場合ニ、企業再建整備法ト、金融機關再建整備法ト、特別和議法ト三ツ、斯ウ云フコトニ關聯シテ居ルモノデアリマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテ關聯シテ御伺シタイノデアリマス、先ヅ第一ニ御伺シタイコトハ、企業再建整備法第七條第二號ニ依リマスルト云フト、舊債權ノ中知レタル特別損失負擔債權ハ、其ノ十分ノ七ニ達スル迄債權者ガ損失負擔スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ金融機關再建整備法案ノ第二十四條ノ四、五、六、七ニ依リマスルト、金融機關ノ整理債務ヲ、法人ノ預金ト其ノ外ノモノト區別シマシテ、更ニ法人ノ預金ヲ一口ガ五

百圓以上ノモノ、百萬圓以上ノモノ、ソレカラ十萬圓ヲ超エルモノ、ソレカラ十萬圓以下ノモノ、斯ウ云フ風ニ數階段ニ區別シテ居リマス、サウシテ別別ニ償權ノ損失負擔ノ割合ヲ規定シテ居ルノデアリマス、償權ノ性質大小ニ依リマシテ負擔スル金額ニ差等ガアルノデゾイマス、サウシテマシテ此ノ企業及ビ金融機關再建整備法案デハ、只今申上ゲタヤウナ負擔割合ニ從ツテ、償權者ハ一律ニ損失ヲ負擔スル、斯ウ云フ風ナコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ特別和議法ノ第五條ニ依リマスルト、特別和議ノ條件ト云フモノガ各特別和議償權者ニ付テ差等ガアルノデアリマス、所謂正義原則ト申シマスルカ、サウ云フモノニ合致致シマスルモノデアレバ、裁判所ハ特別和議ノ開始認可ヲ決定スルコトガ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ償權ノ觀點ニ立チマシテ、償權ノ大小トカ、或ハ其ノ發生ノ時期トカ、其ノ他諸般ノ事情ヲ斟酌シマシテ、解決方法ガ取ラレルヤウニナツテ居ルノデアリマス、只今申上ゲタ通り三法案ニ付キマシテ、ソレハ規定スル償權者ノ損失負擔ノ大要ニ於キマシテ、性質ガナイノデアリマス、斯様ニ變ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ相違ヲ設ケマシテ理由ヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ企業及ビ金融機關再建整備法案ト云フノハ共ニ經濟ノ速カナ再建ヲ目的トスルノデアリマスガ、是等ニ於キマシテモ、矢張り特別和議法案ニアリマスルヤウニ、償權ト云フ原則カラ「スタート」シマシテ、償權者ノ償權ヲ一律ニ切棄テルト云フヤウナコトヲ止メテ、償權者ガ經濟再建ニ必要ナ重

要部門ニアルト云フ場合ニハ、損失ノ負擔金額ヲ輕減スルトカ、或ハ免除スルトカ云フヤウコトナド、特別ノ事情ヲ考慮スルト云フコトガ必要デゾイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスノデ、之ニ付キマシテノ政府ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 結局此ノ三法案ニ於キマシテ、自己ノ資本デ先ヅ負擔スベキ損失ノ割合ノ計算方法デアリマスガ、三法案トモ仰セノ如ク多少相違致シテ居ルノデアリマス、其ノ理由ハ結局一口ニ申シマスルト云フト、一般ノ工業其ノ他ノ企業、金融機關、又個人ヤ法人等ノ性格ノ相違カラ參ッテ居ルト斯ウ申上ゲテ宜イノデアリマス、又償權ノ觀念ノ外ニ負擔ノ能力ノ問題モ考ヘ合セラレタ問題デアリマシテ、一般ノ企業ノ場合ニ於キマシテハ、先ヅ自己ノ資本デ損失ヲ補フベキ部分ノ相當ニ見マシテ、先ヅ外部資本ニ付キマシテモ、一時ハドウ云フ風ニ負擔フサスベキカニ付キマシテハ色々問題モアツタノデアリマス、或ハ普通ノ償權ト又社債ノ如キハ別ニ、ベキカト云フヤウナ研究モアツタノデアリマス、色々考慮致シマシテ、先ヅ一般企業ニ付キマシテハ自己ノ資本ノ負擔ノ割合ヲ先ヅ多ク、外部償權ノ負擔ヲ先ヅ少クスルト云フコトガ適當デアフト、斯ウ云フヤウナコトニ落着キマシタノデアリマス、又金融機關ノ方ニ於キマシテハ、要スル預金者ノ保護ヲ如何ニスルカト云フコトガ重點デアリマスノデ、是ハ此ノ負擔力ニ應ジマシテ、負擔能力ノ多イ、即チ預金ノ分量ノ多イモノニハ餘計負擔サセルト云フヤウナ觀念カラ、先ヅ法人ニ付キマシテハ

預金ノ多イモノカラ切棄アルト云フヤウナ此ノ程度ヲ適當デアラウト云フコトデ參リマシタ譯デアリマス、又個人ト是等ノ企業及ビ金融機關ノ間トノ違ヒハ、法人ニ於キマシテハ業務ノ種類ハモウ既ニ定ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ個人ノ生活ニ於キマシテハ、個人ノ負債ノ生ジタ原因ガ此ノ補償打切りバカリデゾイマセス、色々個人ノ狀態ハ他ノ種々ナ方面カラノ負債モアリマスノデ、之ヲ法人ノヤウナ工合ニ或率ヲ定メテヤツテ置タト云フコトガ困難デアリマスノデ、個人ヤ法人ハ各々ノ人、各々ノ法入ノ其ノ事業、及ビ財政狀態、或ハ生活ノ狀態ト云フヤウナモノヲ考慮致シマシテ、個別的ニ和議ノ方法ニ依リマシテ、如何ニ外部ノ償權ヲ切棄ス、費ヲカト云フコトノ協議ヲシテ費ヲ云フコトヲ適當デアル、要シマスル、一般ノ企業、金融機關、個人ト、其ノ經濟生活ノ本質ニ違ヒノアリマス、コト、故ニ償權者ノ負擔能力ト云フヤウナ點モ考ヘ合セマシテ、ソレハ立案致シマシタノデ、此ノ三法案間ニハ多少ノ相違ノ生ジタ譯デアリマス、御了ラ致シタイ……

○片岡直方君 次フ急ギマスノ質問ヲ致シタイ……

○板谷順助君 委員長、チヨツト關聯シテ、今ノコトデチヨツト、聽クダケテス

○子爵大河内輝雄君 一通リヤラシタラ宜イ

○片岡直方君 先程ノ御話デ續ケテ質問サセテ戴キマシテ、後カラヤツテ戴カナイト時間モ掛カルノト、ソレカラ全體ニ於テ論旨ガ崩レテ來ルヤウニ思ヒマス

○委員長(三土忠造君) 關聯質問デスカ、關聯質問ハ成ルタケヤラスヤウニセント……

○板谷順助君 ソレナラバ……アナタル、仰シヤツタカラ、宜シウゴサイマス

○片岡直方君 次ノ問題ニ入リマス、次ハ我が國産業ノ獨立保持ノ問題デアリマス、企業及ビ金融機關再建整備法案ニ依ツテ生ジマスル未拂株金ノ徵收ノ問題、ソレカラ財產稅法ニ依リマス物納、株式ノ處分、換價ノ問題、財團解體ニ依ツテ惹起シマス所ノ財團株式ノ處分法ナドノ諸問題ニ對シテ、斯ウ云フモノヲ中心トシテ色々ノ議論ウ今行ハレテ居ルノデアリマスガ、第一ニ何ヒタイコトハ、政府ハ是等ノ株式ヲ入手スルモノハ、如何ナル社會層ノ者デアルト云フ風ニ御考ヘナツテ居ルカドウカ、私ハ此ノ點ヲ所得稅ニ依リマシテ、株式ハ或ハ取得セラレルノデハナイカト云フコトヲ、或ハ杞憂カモ知ラセマスガ、サウ云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ經濟ノ激動ノ時期ニ非常ニウマク立廻ツテ、非合法的ノ手段デ以テ所得稅ヲ獲得シタ、云フヤウナ者ガ、我が國ノ企業ノ主要ノ株式ヲ大量ニ取得、ルト云フコトニナリマスル、我が國ノ産業ニ對ヘル支配權ヲ全クサセ云フ者ニ變ツテ行クト云フコトニナルノデアリマス、而モ新聞ヲ獲得シタ者ガ……、斯ウ云フ無理ヲシテ新聞ヲ獲得シタ者ガ、經濟建設ノ擔當者ニナツテ行クヤウナ氣モ致スノデアリマス、斯ウ云フコトハ誠ニ國家ノ前途ニ對シテ憂ヘルコトト考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテ政府

ハ如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御質問ニナリマシタ點ハ政府ニ於キマシテモ特ニ憂慮ヲ致シ、又其ノ將來ニ付キマシテ深ク考慮シツ、アル問題デアリマス、此ノ法案ガ實施サレマス際ニ、未拂株金ヲ徵收セラレ、其ノ爲ニ拂込不能ノ場合モ隨分起キヨウト、思ヒマス、其ノ爲ニ失權スル株主モ亦出來ヨウトモ存ジマス、又之ガ處分株トナリマシテ好マシカラサル方面ニ此ノ株式ヲ買取ラレルト云フ觀念アルコトモ十分警戒シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマスガ、尙差當リノ問題ト致シマシテハ、是等處分サレルヤウナ株式ヲ一時健全ナ機關ノ手ニ「プー」ル「ヨサセ」テ置キマシテ、漸次之ヲ企業或ハ金融機關ノ整備ト共ニ、是ガ適當ニ處分セラレルヤウナ方法ニ付テ日下考慮致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ企業、金融機關ノ整備ノ結果、從來ノ何ト申シマスカ、指導層ト申シマスカ、是等ノ株式ノ所有ノ層ガ變ハルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存セラレマス、殊ニ我が國ガ「ボクダム」宣言ニ基キマシテ課セラレテ居ル大キナ問題ニ、經濟民主化ト

如何ナル處置ヲ以テ臨マルト云フ御考デアルカドウカ、日本經濟ノ再建ノ爲ニハ、此ノ重要基本産業ノ株式ト云フヤウナモノハ、政府ガ自ら手ニ收メルト云フ方法ニ依ルノカ、或ハ企業再建整備法ノ第十三條ニモ規定シテアリマスルヤウニ、何カ議決權ヲ行使ニ對スル制限ト云ツタヤウナモノニ依ツテ、我が國ノ産業ノ獨立性ヲ確保シテ行ク、云フコトガ必要デナイカト斯ウ云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

云フ問題アリマス、財閥ノ解體、其ノ他日本ノ經濟ノ機構ガ一部分ノ手ニ從來ノヤウニ委ネラレテ居ルノハ宜シクナイ、之ガ民主的ニ、此ノ企業ノ經營ガ民主的ニナルト云フコトガ希望セラレテ居ルノデアリマシテ、政府ノ今考ヘテ居リマスル施策モ、其ノ點ニ相當考慮致スノデアリマシテ、將來處分サルベキ、或ハ株式其ノ他ノモノガ、斯ウ云フヤウナ所謂、或ハ振興ト云フ言葉ガ適當デアルカドウカ存ジマセヌケレドモ、廣クサウ云フモノガ國民ノ全般ノ手ニ擴ガルト云フコトハ、寧ロサウ云フ方面ニ關スル限リハ積極的ニサナケレバナライモノデハナイカト考ヘテ居リマシテ、經濟民主化ト云フ問題ニ付キマシテハ、是等ノ株式ノ分配ナドト考ヘ合セマシテ、政府デハ目下頻リニ研究ヲ致シテ居ル點デアリマス

○委員長(三土忠造君) チョット此ノ際先刻懇談ノ場合ニ申上ゲタコトヲ正式ニ申シタイノデアリマスガ、委員諸君モ、ソレカラ政府ノ方モ、會期切迫ノ際デアリマスルカラ、出來ルダケ質問ノ言葉ヲ簡單ニシテ要領ダケヲ述ベル、ソレカラ政府ノ方モハツキリト簡單ニ出來ルダケ述ベル、サウ云フ風ニシテ戴キタイト云フコトヲ先刻申上ゲマシタガ、此ノコトヲ正式ニ申上ゲテ置キマス

○片岡直方君 一應次ノ問題ニ入リマス、次ハ經濟再建整備委員會ト云フ規定ガ今度ゴザイマスガ、其ノコトニ付テ御尋シタイノデアリマス、此ノ五法案ヲ見マスルト云フト、非常ニ政府ノ權限ガ増加セラレラヤウニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ企業整備法案ノ第五條、ソレカラ二十二條、ソレカ

ラ金融機關、是ハ二十七條デアリマス、ソレカラ財産稅法三十條、三十六條、ソレカラ六十四條、條文ハ省略致シマスガ六十四條、ソレカラ五十三條、是等ハ皆關係ガアルノデアリマスガ、企業整備法ニ於ケル整備ニ依ル整備計畫ノ認可權、ソレカラ金融機關再建整備法ニ於ケル最終處理方法ノ認可權、ソレカラ財産稅法ニ於ケルマシル評定決定權、是等ノ權限ガ政府ニ與ヘラレルノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、國民ニ對シテ、政府ハ戰時中ニ於ケル統制經濟ニ比シマシテ、ソレ以上ノ非常ニ強力ナル發言權ヲ持ツヤウニナルト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、戰爭中ニ於ケルマシテハ、國民ハ隨分官僚ノ唯我獨尊ノヤリ方、繁文縟禮、ソレカラ使テ大ナル形式的ナ書類ヲ要求サレマシテ、事務ガ非常ニ澁滞ヲ來シタノデアリマス、斯ウ云フ官僚ノ政治ノ缺點ハ、實ニ怨嗟ノ的ナツテ居タノデゴザイマスガ、此ノ戰後ノ民主化ヲ要望セラレル今日ニ於ケルマシテハ、經濟ノ所謂民主化ト云フ見地カラ申シマスルト云フト、此ノ五法案ヲ實行スルト云フ場合ニ、同ジヤウナコトガ繰返サレテハ相成ラヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ弊害ヲナクシテ行クト云フ役割ヲ持ツテ居ル所ノ、只今申述ベマシタ企業及ビ金融機關再建整備法ニ關ヘテ居リマスル所ノ經濟再建整備委員會ト云フヤウナ構成、是ハ戰時中ノ所謂色々アリマシタ諸委員會ト違ツテ、民主的ノ機構ガドノ程度取入ラレテ居ルカドウカト云フコトヲ先づ伺ヒタイノデアリマス、次ニ伺ヒタイコトハ、整備委員會ニハ、昨日國務大

臣ヨリモ御説明ガアリマシタガ、民間ノ學界ノ「エキスパート」ヲ入レルト云フコトデゴザイマシタガ、ドウ云フ方面カラ、又ドウ云フ割合デ御入レニナルカ、ドウ云フ風ニ之ヲ運営セラレルカト云フコトデスガ、又拜見致シマスル諸機關ト、斯ウ云フヤウニナツテ居リマスルガ、私ハ考ヘマスノニ、斯ウ云フ時代ニナリマシテ、成ルタケ民間ノ意見ヲ取入レテ本當ニ運営サレルノガ宜イト云フヤウナ氣ガ致シマスルノデ、寧ロ積極的ニ活動セシメルコトガ必要デヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、其ノ意味ニ於ケルマシテ、只今申述ベマシタ企業再建整備法並ニ金融機關再建整備法ニ於テノサウ云フヤウナ委員ガドウ云フ役割ヲ持ツテ演セラレテ行クカト云フコトニ付テ御説明ヲ煩ハシタイノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 只今御尋ノ委員會ハ、民主的ニ之ヲ運用シタイト思フノデアリマシテ、此ノ委員會ニハ學界ノ代表、又或場合ニ於ケルマシテハ勞働ノ代表ノ方モ入レマシテ、此ノ委員會ハ中央ニ、中央ノ經濟再建整備委員會ガアリ、又地方ニモ之ヲ設ケマシテ、出來ルダケ官僚統制或ハ官僚獨善ノ弊ニ陥ラナイヤウナコトヲ考ヘテ居リマス次第デアリマス、尙其ノ構想ハ……委員長、如何デアリマセウカ、政府委員ニ述ベサセマセウカシラ……

○片岡直方君 時間ヲ取リマシテ御迷惑ヲ掛ケレバ後……

○國務大臣(勝桂之助君) ソレデハ後ニ詳細政府委員ヨリ申述ベサセマス

○片岡直方君 次ニ御質問申シタイノハ、戰時補償特別稅ノ物納ト云フ問題、是ハ財産稅ノ方ニモ關係ガゴザイ

マス、關聯ガゴザイマスノデ御質問ヲ申シタイノデアリマスガ、戰時補償特別措置法ニ於ケル關聯ガアリマス、納稅ノ義務ノアル者ガ金錢完納スルト云フコトガ困難ナル場合ニハ、物納出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、一方財産稅法デモ同様ニ、五十六條デ以テ同様ニ認メテ居リマスルガ、戰時補償特別措置法ノ規定シマスル物納ノ種類ト云フモノハ、ウ云フモノデアリマスルカ、又是ト關聯アル所ノ財産稅ノ物納ノ對象ト同ジモノデアリマスルカドウカ、違ヒザアルナラバソレモ御示シテ願ヒタイ、ソレカラモウツ、戰時補償特別措置法、ソレカラ財産稅ニ於ケル物納處分……

○政府委員(池田勇人君) 御答ヘ申上ゲマス、戰時補償特別稅並ニ財産稅ハ御話ノ通り物納ノ制度ヲ認メテ居リマス、而シテ其ノ範圍並ニ順位ニ付キマシテハ、各種ノ財産ノ物納セシメ得ルコトニ致スノデアリマスルガ、其ノ順位ハ先づ國債ヲ第一ニ致シマシテ、二番目ニ株式又ハ不動産、最後ニ動産ノ物納ヲ認メタ譯デゴザイマス、而シテ物納サレタ財産ノ換價處分ニ付キマシテハ、是ハ各種ノ財産ノ種類ニ依リマシテ、其ノ方法ヲ變ヘタイト思ヒマス、是ハ當然國有財産ト相成ルノデゴザイマスルガ、株式ニ付キマシテハ、經營

先程御質問モアリマシタヤウニ、經營

ノ經驗ノナイ人ガ之ヲ持ツト云フコトハ餘リ好マシクゴザイマセヌノデ、一應特定ノ所謂金融機關等ノ團體ニ持タセマシテ、適當ナ時期ニ、又適當ナ方面ニ賣ラレルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス、又不動産ニ付キマシテモ、田畑ニ付キマシテハ農地調整法ノ關係ニ依リマシテ相當小作人ニ參リマスデセウ、又市街宅地並ニ家屋ニ付キマシテハ、勸業銀行或ハ信託會社等ヲシテ其ノ換價方法ニ協力セシメルヤウニ、只今研究致シテ居ルノデゴザイマス

○片岡直方君 私ハ關聯ノアル質問ハ是デ終リマスノデ、又後デ別ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○子爵大河內輝耕君 私ハ立ツテ質問ヲ致ス譯デゴザイマスガ、足ガ惡イノデ坐ツタ儘願ヒ致シマス、ドウゾ國務大臣モ坐ツタ儘願ヒ致シマス、一番先ニ伺ヒタイノハ、議事ノ進行ノ爲ニ便利カト思ヒマスカラ、誰方カラデモ宜シクゴザイマスガ、衆議院デドンナ質問ガアツタノデゴザイマセウカ、大要御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、衆議院デアハタコトノ御話ヲ伺ヘバ、此處デ又伺ハズニ濟ミマスカラ……、若シ只今デハイケマセヌナラ後ノ機會デ結構デアリマス

デ區切りマシタノハ、日本ガ降伏シタ日、其ノ以後ニハ日本ノ諸財政モ占領軍ノ管理下ニ在ルノデアリマシテ、丁度其ノ時ヲ以テ財政ノ處分ノ分界點トスルノガ最モ適當ト考ヘマシタノデアリマス

○公卿大河内輝雄君 サウシマスト、ソレニ依ツテ幸不幸ガ出來ヤウト思ヒマスガ、ソレハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(勝桂之助君) 本法案ノ施行ニ付キマシテ幸不幸ノ出來マスト問題ハ、是ハ昨日モ提案ノ理由ニ述ベマシタヤウニ、他ニモ途ガアツタノデアリマスルケレドモ、内外ノ情況ヲ考ヘマシテ、此ノ方法ヲ執ルニ致シマシテモ、八月十五日デ仕切りマストルカ、或ハ九月二日デ仕切りマストルカト云フヤウナ、兎ニ角或一線ヲ劃スル必要ガドウシテモ出來マス、是モ内外ノ情況ニ鑑ミマシテ八月十五日、是ノ適當ダ、其ノ爲ニ出來ル不公平モアリマスルケレドモ、是ハ已ムヲ得ナイ、何レニ致シマシテモ或分界點ガ出來マスト、其ノ前後ニ付テノ公平不公平ガ出來マストルガ、ソレハ已ムヲ得ヌコトト存ジマシテ、決定致シマシタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝雄君 之ニ付キマシテハ、私素人デ何モ伺ツテ居リマセスカラ、愚問カモ知レマセスガ、別ニ是ハ御區切りニナラナクテモ皆同ジ軍需會社ナンデスカラ、區切ラナクテモ宜ササウナモノデゴザイマスガ、サウ行カナイモノゴザイマセウカ

○國務大臣(勝桂之助君) 軍需會社等ニ對シマスル支拂ハ、開戦後間モナク支拂ツタモノモアリマスシ、又終戦後拂ツタモノモアリマスシ、何レカデ區

切りマセストイケマセス、殊ニ終戦後支拂ツベカラザルモノモ支拂ハレタル感ガアリマスカラ、此ノ終戦ノ前後ニ或一線ヲ劃スル必要ヲ感ジタ譯デアリマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ御話ノコトハ能ク分リマシタガ、私ノ意見デハモウ少シ根本ニ行キマシテ、此ノ補償ノ打切りト云フコトハ大變ナコトダ、軍需會社、一部ノ人ニバカリノ利益ヲ與ヘルヤウニ考ヘラレルノデスケレドモ、勿論戰爭デ儲ケテ居ルコトハ是ハ分ツテ居リマスカラ、其ノ點相當考慮スル必要ハアラウト思ヒマスガ、何ダカ之ニ對シテノ百分ノ百課ケルノデ、是ハバカリ苛メルヤウニ感ガアル、寧ろ損ヲシタノハ國民一般ナンデスカラ、國民一般ガ損ヲスルノハ分ツテ居リマスガ、軍需會社バカリ損ヲスルノハ何ダカ解シ難イヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○國務大臣(勝桂之助君) 昨日モ提案ノ理由ニ述ベマシタヤウニ、今回ノ補償ノ打切りハ軍需會社、及ビ之ニ類似ノ軍需品ノ製造及ビ納入ニ從事シタモノバカリデハアリマセス、一般國民ニ及ビマスル戰爭ニ基キマスル火災保險、又企業賠償ニ基キマスル補償金、轉業資金、又強迫開闢等ニ基キマスル補償金、斯ウ云フヤウナ有ラニル戰爭ニ基因シテ政府ニ請求權ヲ持チマシタ請求權ノ範圍全部ニ及ブノデアリマシテ、是ハ軍需會社ノミ等ニ限ラレテ居ナイ譯デアリマス、御了承ノ願ヒマス

○子爵大河内輝雄君 能ク分リマシタ、私ノ申スノハサウデナイ、サウ云フヤウナ請求權ハ御拂ニナルモノハ御拂ニナツテ、取ルモノハ一般ノ收入、例

ヘバ脱トカト云フモノデ御取リニナルモノデナイイカ、唯サウ云フ偶然請求權ヲ持ツテ居タモノバカリニ不利益ヲ生ズルノハイケナイイカ、又不公平デヤナイイカト云フコトト申上ゲルノデアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) 戰爭ニ基キマスル國家財政ヲ救フコト云フコト、又所謂救済資本ニ依ツテ水膨レシテ居リマスル企業ノ整備ヲスルニハ如何様ニシタラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、色々御意見モアリマシテ、御意見ノヤウナ方法ニ依ツテヤリマシテ、拂フベキモノハ先ツ拂ツテ、其ノ後ニ公平ノ觀念ヲ適當ニ租税ノ形式デ取リ上ゲベキモノハ取リ上ゲル、是モ一ツノ考ヘ方デアリマシテ、政府モ現内閣組織以後此ノ方法ニ付テ十分考慮致シタノデアリマスルケレドモ、尙又一ツノ方法トシマシテハ今回ノ提案ノヤウナ方法モアリマスノデ、先ツ此較研究ノ結果、此ノ本法案ノ方ガ國家ノ財政ヲ急速ニ整理ラシテ企業ノ再建ヲ急速ニ圖ル上ニ適當ダト考ヘマシテ提案致シタノデアリマスガ、考ヘ方ト致シマシテハ只今御質問ノヤウナ考ヘ方モ十分理由ノアルコトデアリマス

○子爵大河内輝雄君 此ノ上議論ニナリマスカラ申シマセスガ、次ニ伺ヒタインハ戰時補償特別措置法案ノ第十條デゴザイマス、チヨツト片岡君モ御質問ノ中ニ御觸レニナリマシタガ、私ハ別ノ意味カラ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ納税義務者個人ノ場合ニ於テ五萬圓、法人ノ場合ニ一萬圓、是ダケノ控除額ガアリマス、此處ニ出テ居リマス是ハ兎ニ角控除ハ意味ハ分リマスガ、五萬圓、一萬圓ヲ決メラレタ數字ノ根據ハ他ニアリマスカ

○國務大臣(勝桂之助君) 大體ノ考方ト致シマシテハ、法人ニ付テハ原則ノニ一ツノ請求權毎ニ一萬圓タケハ控除致サウト云フコトデアリマシタ、尙五萬圓ト云フ制限ノ出マシタノハ、多ク是ハ個人ニ掛カル請求權ノ場合デアリマシテ、補償ノ打切りハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、成ルベク中小業者、中小商工業者、サウ云フヤウナ方面ニ出來ルダケ控除ヲ考慮致シマシテ、ソレ等ノ方々ノ經濟ノ再起ヲ助ケルヤウニシタラ宜カラウ、左様ナ考慮カラ中小商工業者、或ハ中小業者、サウ云フ者ヲ成ルベク助ケタイト云フヤウナ考カラ五萬圓迄ノ控除額ヲ、企業整備ニ基クモノ、又火災保險ニ基クモノ、強迫開闢ニ關シマスモノ、此ノ三ツニ付キマシテ五萬圓迄ノ控除ヲ認メタ次第デアリマス

○子爵大河内輝雄君 能ク分リマシタ、唯法人ノ場合ニ一請求權毎ニ一萬圓、是ハ成ル程一ツノヤリ方デハゴザイマスガ、ソレデハ法人ノ方モ矢張り個人ト同ジヤウニ再起ノ金ダケハ殘シテヤルト云フヤウナ方法ヲ御執リニナツタラ宜イト思ヒマスガ、是ハ一請求權毎ニ一萬圓トナサツタノハドウ云フ譯デアリマスカ

○國務大臣(勝桂之助君) 法人ノ場合ニハ一ツノ會社、法人デ請求權ヲ相當重複シテ居ルコトモ豫想セラレマスノデ、其ノ場合ニハ其ノ最後ノ所ニアリマスル十萬圓迄ヲ限リマシテ、請求權ガ重ツテ居ツタ場合ニハ各々ニ付テ一萬圓迄ヲ認メテ行カウ、個人ノ場合ニハ請求權ノ重ナルコトガ比較ノ少ナイノデ、先ツ總括的ニ或種類ノ請求權ニ付テハ、五萬圓迄ヲ助ケテ上ゲヨ

ウ、斯ウ云フコトニシタ譯デアリマス

○子爵大河内輝雄君 能ク分リマシタ、サウスト個人ハ五萬圓法人ハ十萬圓、斯ウ區別シテアリマスガ是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○國務大臣(勝桂之助君) 私ノ申上ゲ方ガ照カツタノデアリマスガ、此ノ十萬圓ノ制限ガアリマスノハ、法人ハ今申シマス通り請求權ガ色々重ナリマシテ、或場合ニハ火災保險ノ場合モアリ、或ハ物品ノ納入モアリト云フ風ニ重ナリマスノデ、先ツ此ノ位ガ適當デアラウト思ヒマシテ、此ノ所ニ制限ヲ付ケタノデアリマス、考ヘ方ニ依レバモウ少シ多ク、或ハモウ少シ少ク、色々アリマセウケレドモ先ツ個人ト法人トノ間ノ見合フ此ノ位ガ適當デアラウ、斯ウ考ヘマシタ次第デアリマス

○子爵大河内輝雄君 甚ダ恐縮ナ御尋デゴザイマスガ、個人ト法人トノ區別ヲシタ理由ガチヨツト分リ難ネルノデアリマス、略々見當ハ付イテ居リマスケレドモ、政府當局トシテノ御考ヲ一ツ伺ヒタイ

○國務大臣(勝桂之助君) 只今申上ゲマシタ處デ一ツ御了承願ヒタウゴザイマス、尙チカノノ本法案ニ付キマシテ或場合ニハ公平及ビ比較ノ問題モアリマスケレドモ、又何レカノ機會デ申上ゲルコトモ出來ヤウカト存ジマス

○子爵大河内輝雄君 チヨツト私ノ質問ノ意味ガ分ラヌトイケナイカラ申上ゲマスガ、私ノハ是ハイケナイカラヤメト云フコトデモナシ、議論シテ居ル譯デモナイ、唯政府ノ御考ヲ伺ヘバ宜イノデスガ、チヨツトムツカシウゴザイマセウカ

○國務大臣(勝桂之助君) 適當ノ機會

ニ申上ゲタイと思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ次ニ伺ヒマスガ、此ノ金融機關再建整備ト云フノゴザイマスガ、是ハ金融機關ガニ限ツテ整備ヲサレル譯デ、他ノ工業ノ整備ハ何カノ方ニハ餘リ念頭ニ置カレナイノデスカ、ソレハドンナモノデセウカ、何レ斯ウ云フ風ナコトニナリマス、軍需産業ハ皆潰レテシマヒマス、サウシマスソレヲ利用シテ新シイ工業ヲ起シテ行クト云フ處置ハ當然考ヘラレナケレバナラス、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ、或ハ問題外ナラバ宜シウゴザイマス

○國務大臣(勝桂之助君) 一般ノ企業ニ付キマシテハ企業再建整備法ヲ失張リ金融機關ト同ジヤウニ考慮致ス譯デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ是デ伺ヒマスガ、企業ヲ再建サレルニハドウ云フ企業ヲ再建サレル目的デアリマスカ、具體的ニ伺ヒタイ

○國務大臣(勝桂之助君) 此ノ企業再建整備法デ整備致シマスノハ、此ノ間會社經理應急措置法ト云フモノヲ御協賛ヲ經テデアリマスガ、ソレノ目的トナツテ居リマス特別經理會社、之ヲ此ノ企業再建整備法デアリノデアリマス、一口ニ申シマスレバ、補償ノ打切りニ依リマシテ非常ナ影響ヲ受ケマス企業、此ノ企業ノ財政ヲバ整理シテ、再ビ健全ナル財政ノ下ニ新シク企業ヲ發足サセヨウ、斯ウ云フ目途デアリマスノデ、相當廣汎ノ範圍ニ互リマシテ此ノ目途トサレマス企業ガ包含サレル譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス此ノ御趣旨ハ日本ノ企業ヲ再建シテヤ

ラウト云フノデハナクシテ、或特別ノ事情デサウ云フヤウナ境遇ニ立ツタ者バカリヲ再建シテヤルト云フノデ、日本ノ企業ヲ、日本ノ工業ヲ再建スルノダト云フコトハ此ノ此案ニハ入ラナイ、ソレハ又別ノ方法デゴザイマス

○國務大臣(勝桂之助君) 日本ノ殆ド全部ノ會社ト申シテ宜イ有力ナ會社ハ何等カノ形デ此ノ戰爭ニ關シマス政府ニ對スルカ、或ハ公共團體其ノ他ニ對シマス請求權ガアリマス、實質的ニ於キマシテハ矢張り日本ノ殆ド主要ナ會社ハ全部ト申シテ宜イ程此ノ法律ニ依リマシテ再建セラレルコトニナリマス

ニ、政府ノ補償ヲ打切ラレル爲ニ非常ナ損失ガ出來テ、是デハ立ツテ行カナイト云フ爲ニ會社ノ財政ヲ整理スルト云フダケヲ目的ト致シマス、御尋ネノヤウニ是カラ積極的ニ日本ノ工業ヲドウ云フ方面ニ助長シテ參ルカ、或ハ國內ノ重要基礎産業デアルカ、輸出産業デアルカト云フ方面ハ又別ノ方策ニ依リマシテ助長致シマス、是ハ全クノ整備ノ爲ノ法案デゴザイマス、御了承願ヒタウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、サウ云フ狀態デ御整理ノ結果、赤ガ出タラドウシマスカ、ソレハ和議ノ方決モアリマスカラ、色々ナコトモアリマセウガ、何デモ赤ガ出テシマフト云フヤウナコトニナリマス、放ツテ御置キニナリマスカ、或ハ政府デソレダケ見テオヤリニナリマスカ

○國務大臣(勝桂之助君) ソレハ此ノ法律ノ第二章ニ特別損失ト云フ章ガアリマシテ、其ノコトガ規定サレルノデアリマスガ、先ヅ其ノ或企業ノ補償打切りニ伴ヒマシテ莫大ナ損失ガ出來タ、到底立ツテ行ケナイト云フヤウナ場合ニナリマスルト云フト、先ヅ其ノ損失ノ中カラ繰越益金、積立金等ヲ控除致シマシテ、尙損失ノ殘リマシタ場合ニハ、此ノ法律ニアリマスルヤウニ、先ヅ自己資本ノ九割迄ヲ切捨テテ其ノ損失ニ當テ、尙損失ガ殘リマスルト云フト、外ニ對スル借金ノ七割迄ヲ切捨テテシマフ、尙足リマセウ場合ニハ自己資本ノ殘ツテ居ル一割ヲ切捨テ、尙足リマセウ場合ニハ、外ノ借金ノ更ニ三割ヲ切捨テ、斯様ニ致シマシテ、ソレデドウシテモ整理ノ出來ナイモノハ、是ハ破産ヲスルカ或ハ解散ヲスルカト云フヤウナ途ヨリ仕樣ガアリマセウレケドモ、斯クノ如クニ致シマシテ、負債ノ整理ヲ此ノ法律デ助長シテヤリマシテ、ソレニ依ツテ企業ノ再建ヲ圖ツテヤラウ、斯様ナ法律案ノ仕組ニ相成ツテ居ル譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、其ノ爲ニ國庫ノ負擔ハ大分増シマスノデスカ、ソレトモ國庫ノ負擔ハ唯世話ヲシテヤルト云フダケナデアリマス

○子爵大河内輝耕君 大變結構ナコトデ、何カ方法ガナケレバ、政府ノ方デモ努力サレルト云フコトガナケレバ意氣地ノナイヤウナ話デアリマスガ、日本ノ産業ハ起リツコナイト思ヒマス、サウ致シマス御差支ナイ限リ一ツ問題ガ少シ廣クナリマスガ、簡單デ宜シウゴザイマス、ドンナ産業ヲ是カラ起シテヤツテ行カウト云フ御考デ、御答ノ便宜ノ爲ニ申シマスガ、海外ノ産業ニ對シテドウセ輸出ノコトナド必要デセウガ、サウスレバ纖維工業ト工藝品トガ主ナモノデアリマセウシ、ソレカラ國內ニシテハ電力ノ後始末モシナケレバナラズ、又其ノ他色々化學工業トカ或ハ肥料デアルトカト云フヤウナコトモヤラナケレバナリマセウガ、サウ云フヤウニ我々ハ考ヘテ居リマスガ、政府ノ重點ヲ置カレル點ヲ成ルベク具體的ニ伺ヒタイ

○國務大臣(勝桂之助君) 此ノ法律ハ別ニドウ云フ種類ノ産業ト云フ譯デアリマセウノデ、先程モ申上ゲタ、又提案ノ理由ニモ申上ゲマシタヤウ

○國務大臣(勝桂之助君) ソレハ此ノ法律ノ第二章ニ特別損失ト云フ章ガアリマシテ、其ノコトガ規定サレルノデアリマスガ、先ヅ其ノ或企業ノ補償打切りニ伴ヒマシテ莫大ナ損失ガ出來タ、到底立ツテ行ケナイト云フヤウナ場合ニナリマスルト云フト、先ヅ其ノ損失ノ中カラ繰越益金、積立金等ヲ控除致シマシテ、尙損失ノ殘リマシタ場合ニハ、此ノ法律ニアリマスルヤウニ、先ヅ自己資本ノ九割迄ヲ切捨テテ其ノ損失ニ當テ、尙損失ガ殘リマスルト云フト、外ニ對スル借金ノ七割迄ヲ切捨テテシマフ、尙足リマセウ場合ニハ自己資本ノ殘ツテ居ル一割ヲ切捨テ、尙足リマセウ場合ニハ、外ノ借金ノ更ニ三割ヲ切捨テ、斯様ニ致シマシテ、ソレデドウシテモ整理ノ出來ナイモノハ、是ハ破産ヲスルカ或ハ解散ヲスルカト云フヤウナ途ヨリ仕樣ガアリマセウレケドモ、斯クノ如クニ致シマシテ、負債ノ整理ヲ此ノ法律デ助長シテヤリマシテ、ソレニ依ツテ企業ノ再建ヲ圖ツテヤラウ、斯様ナ法律案ノ仕組ニ相成ツテ居ル譯デアリマス

○國務大臣(勝桂之助君) ソレガ二段ニ相成ルノデアリマスガ、企業ノ整理ヲ斯クノ如クニ致シマシテ、ソレカラ其ノ企業デ金融機關ニ對スル負擔モ澤山ゴザイマスカラ、其ノ負債モ自然ト切捨テラレルコトニ相成リマス、左様ニナリマスルト云フト、金融機關ニ大變穴ガ空クコトニナリマスカラ、其ノ金融機關ニ空ク穴ヲ如何ニ整理スルカト云フトガ、今度同時ニ出マシタ金融機關ノ再建整備法ノ規定ニ依リマシテ、金融機關ガ各々整備サレルノデアリマスルガ、是モ金融機關ノ中ニモ、企業ト同様デアリマセウガ、趣旨ヲ同ジウスルヤウナ方法デ、損失ヲ切捨テマシテ、最後ニ國ガ保障致シマシタ個人ノ預金、保險會社ニ於キマシテハ國ガ保障致シマス最後ノ保險金額ガゴザイマス、其ノ金額ニ迄手ガ及ブヤウナ場合ガアリマシタ場合ニ、一般ノ預金者、即チ過般ノ金融ノ緊急措置ニ依リマシテ、個人ニ付テ保障シマシタ例ノ第一封鎖預金ト又自由預金、斯ウ云フヤウナモノハ國家デ保護シナクチャナリマセウカラ、金融機關ノ整理ノ場合ニ必要ナ限度ノ國庫ノ補助金ガ出マスノデアリマシテ、個々ノ工業其ノ他ノ企業ニ付テハ、直チニ國ノ救済ハ及バナイノデアリマス、國ハ此ノ法律ニ於キマシテ企業ヲ整備サセル、整備サセテ結果金融機關ガ損失ヲ蒙ル、金融機關モソレノ規定ノ内容ニ依リマシテ整理ヲ致シマスガ、最後ニ最小限度ノ國民ノ預金、保險金ヲ保護スル爲ニ、國家ハ百億圓ノ限度ト致シマシテ、金融機關ノ方面ニ、何ト申シマスカ、補助金ト申シマスルカ、補給金ガ參ル仕組ニ相成ツテ居リマシテ、個々ノ

企業ニハ参リマセヌ

○子爵大河内輝雄君 細カイコトヲ伺フノハ時間ガナイカラ止メマシテ、百億デ十分デゴザイマスカ

○國務大臣(陸桂之助君) 國ガ保護ヲシヨウト致シマスル最小限度ノ預金、保險金ノ方ニハ、事足ルト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 是ハ若シ問題外ダツタラ私止シマスガ、個人ノ保險金デスガ、色々ナ生命保險ノ、又色々損害保險モアリマスガ、是ハ矢張り斯ウ云フヤウナコトデ、今ノヤウナ御話ダト云フト影響シテ來ルノダラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウ、別ニ影響ハゴザイマセヌカ

○國務大臣(陸桂之助君) 過般ノ緊急ノ金融措置ニ依リマシテ、又今同ノ諸般ノ一環ノ法律ニ依ツテ、保護サレマスノハ、個人ノ生命保險ハ一萬圓迄、預金ハ第一封鎖預金ガ一世帯一萬五千圓、家族ガ大勢アリマスル際ニハ四千圓迄三萬二千圓迄、是ガ最小限度ニ保護サレマシテ、其處迄ニ損失ガ及ビマス際ニハ國家ノ補助ガ及ビマシテ、保護サレマス譯デアリマス、又火災保險ニ付キマシテハ、五萬圓迄ノ救済ガ認めラレル譯デアリマシテ、ソレ迄ハ國家ノ補助ガ及ブ譯デアリマス

○子爵大河内輝雄君 ソレハドウ云フ標準デ切捨テラレマスカ、例ヘバ大變澤山借金ノ多イ始末ノ惡イ銀行ノ預金シテ居ツタモノハ澤山切捨テラレ、良イ銀行ノ預金シテ居ツタモノハ少ナクテ済ムンダ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ宜シイノデスカ、ソレトモ、皆一律一件ニ例ラレルコトニナルノデアリマセウカ、ドチラデゴザイマセウカ

○政府委員(河野通一君) 御答ヘ致シマス、各金融機關ニ於キマスル第二封鎖預金ト申シマスカ、ソレカラ保險ニ付キマシテハ、舊勘定ニ入リマシタ保險金、債權ニ付キマシテハ、各金融機關ノ内容ニ依リマシテ整理ヲ致サレマス、從ヒマシテ「アール」計算ト云フ方法ハ探ツテ居リマセヌ、惡イ銀行ノ預金致サレマシタモノハ切捨テラレル額ガ多クナル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ一體第二封鎖ハドウ位ノ割合切捨テラレマスカ、例ヘバ五割切捨テラレルカ、七割切捨テラレルカ、大體……

○政府委員(河野通一君) 此ノ點ハ今後金融機關ノ整理ヲ致シマシテ、金融機關ノ整理ト申シマス、結局企業等ニ於ケル整理ノ結果ガ金融機關ノ債權ニ影響致シマス、此ノ整理ヲ致シマシタ結果デアリマセヌト、今ノ所ハ的確ノコトヲ申上ゲ兼ネル、斯ウ云フ状態ニアリマス

○子爵大河内輝雄君 次ニ伺ヒタイノハ、財閥解體民主主義ト云フヤウナコトガ非常ニ流行ツタンデスガ、私ハドウモ是ハ觀念論デ、甚ダ感服シナイノデスカ、ソレハドウツチデモ宜イトシテ、兎ニ角其ノ爲ニ日本ノ經濟界ノ影響ヲ受ケル所ハ非常ニ大キイト思ノデスナ、ソレデ是モ問題外ナラ何デスガ、財閥、所謂大資本家ニ對シテドウ位ノ影響ヲ及スモノデアリマセウカ、是ハ財産稅トモ關係シテ來マスケレドモ、大體ノ御見込ヲ伺ヒタイ、例ヘバ斯ウ云フモノハ私ハ、軍ノ言葉デ言ツチャ惡イカモ知レマセヌガ、海軍デ言ヘバ、戰艦ミタイナモノデ、ドウシテ

モナケレバナラヌモノデアル、ソレヲ皆巡洋艦ダカ編隊艦ニシマツタンデヤ、随分ヒドイト思フ、是ハマア財産稅ノ方ニモ影響シテ來マスガ、併シ企業整備ノ方ニモ影響ガアリマスガ、大體ノ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(陸桂之助君) 財閥ノ解體其ノ他大資本ノ産業ニ於キマスル獨占ヲ防止スルト云フヤウナ意味合ノ一聯ノ施策ニ付キマシテハ、「ボツダム」宣言ニ基キマスル聯合軍カラ「デイレクシヨ」ガアリマシテ、之ニ基キマシテ政府ガ色々ナ政策ヲヤツタ譯デアリマシテ、是ハ日本ノ取敢ニ基キマス聯合軍ノ命令デアリマシテ、當然爲サナケレバナラヌコトニ相成ツテ居リマス譯デアリマス

○子爵大河内輝雄君 ソレハ分リマシタケレドモ、サウスレバ、率直ニ申上ゲテデスヨ、私ハ誤解カモ知レマセヌガ、日本デハ利益ガナイト思フノデス、ソシナコトヲスルノハ……ソレハ命令デスカ其ノ通り遵法シナケレバナラス、是ハ勿論デアリマスガ、何カソレニ對スル善後策ガアツタ然ルベキトイ思フノデスカ、別ニソレハ必要ハナイノデゴザイマセウカ、ソレトモ放ツテ置イナモノ宜イモノデゴザイマセウカ

○政府委員(奥野健一君) 矢張り是等ノ命令モ日本ノ經濟ノ民主化ト云フモノヲ圖ル爲メ命令ナンデアリマシテ、矢張り其ノ趣旨ニ基キマシテ我ガ國ノ將來ノ經濟ノ在リ方ハ從來トハ異ナル一ツノ民主的……民主化サレタ經濟ノ機構ヲ考ヘル、是ガ平和日本ノ將來ヲ建設スル上ノ一番宜イコトト存ジマシテ、左様ナ考デヤツテ居リマスヤウナ譯デアリマス

○子爵大河内輝雄君 能ク分リマシタ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、特別和議法デスガ、此ノ法文ヲ見タダケデハ、チツトモ、ト云ツテハ失禮デスケレドモ、能ク私共素人ニハ吞ミ込メナイ、一條ニハ「この法律は、今回の戰時補償に關する特別措置に關聯シテ經濟上多大ノ損失を受ける債權者のため、その損失を債權者及び債務者間に公平に分擔せしむ」ト斯ウアリマスケレドモ、具體的ニ申シマス、是ハドウ云フ風ナコトニナルノデスカ

○政府委員(奥野健一君) 補償打切りニ伴ヒマシテ、會社、所謂企業會社デアルトカ、或ハ金融會社、金融機關等ガ色々影響ヲ被ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ、各企業再建整備法、或ハ金融機關再建整備法等ニ依ツテ整理致サレマスルノデアリマスガ、是等ノ會社デハハナイ外ノ一般ノ公益法人デアルトカ、或ハ個人ト云フモノモ、或ハ直接ニ戰時補償ノ打切りノ結果、或ハ又他ノ會社等ガ打切りノ結果ニ伴ヒマシテ、間接ニソレ等ノ個人等モ非常ナ損失ヲ被ル場合ガ出テ參リマスノデ、是等ノモノヲ其ノ儘ニ放置シテ置キマス破産ニ陥ル處ガアリマスノデ、破産ヲ防止スルト云フ意味カラ以チマシテ、現在破産防止ノ爲メ和議法ガアリマシテ、此ノ和議ニ依ツテ、各債權ノ辨濟ヲ猶豫シテ置フトカ、或ハ債權ノ程度ノ打切りヲシテ置フト、或ハ利息ヲ負ケテ置フトカト云フ風ナ、債權者ト間ニ於テノ協定ニ依ツテ破産ニ陥ルコトヲ防グ法律ガ和議法デアリマスガ、此ノ和議法デハ今回ノヤウナ緊急ノ場合ニ於テ稍々不十分デアルト考ヘマシテ、特別和議法ト云フモノヲ作リマシ

テ、一般ノ個人、一般ノ法人、所謂企業會社トカ、或ハ金融機關デヤナイ公益法人ト云ツタヤウナモノノ法人、單ナル個人ト云フモノノ破産ヲ防止シタイト云フノガ特別和議法ノ趣旨ナンデアリマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ和議ノヤリ方デスネ、詰リ何トカ和議ノ率ト云ツテハヤカシイガ、半分切捨テルトカ、三分ノ一切切捨テルトカ、ソレハ見込ニ依ツテ色々違ヒマセウガ、ドウ云フ風ニ御立テニナル御積リデスカ、此處ニハ「公平に分擔せしむ」トアリマスガ、債務者ト債權者ガ公平ニ分擔スルト云フノハドウナ意味デスカ、半分ニスルト云フノデアリマスカ、七分三分ニ付キマシテハ、全然此處ニ觸レテ居リマセヌ、唯今ノ大體ノヤリ方ヲ申シマス、和議ノ申立ヲ致シマス、大體ニ於テ強制執行トカ、或ハ競賣法デアルトカ、假若押テアルトカ、假處分デアルトカ、サウ云ツタモノヲ一應全部中止シ、或ハ止メテ何シマス、ソレカラ各債權者ニ債權ノ届出ヲ致シマシテ、サウシテ債務者ノ資産ヲ十分調査致シマシテ、此ノ位ノ條件デ各債權者ニ待ツテ置フトカ、或ハ一部分切捨テデ置フトカ、サウ云フ和議條件ヲ提出致シマシテ、債權者ノ集會ニ於キマシテ、其ノ程度ノモノデアレバ宜シイト云フコトデアレバ、其ノ條件ヲ可決スル、或ハソレレイケナケレバ否決スルト云フコトニナリマシテ、可決ニナマサルト云フコトニ依ツテ和議ガ成立スルコトニナリマスガ、更ニ此ノ法案ニ於キマシテハ、其ノ間債權者團體ト債

權者ト云フモノヲ作リマシ

テ、一般ノ個人、一般ノ法人、所謂企業會社トカ、或ハ金融機關デヤナイ公益法人ト云ツタヤウナモノノ法人、單ナル個人ト云フモノノ破産ヲ防止シタイト云フノガ特別和議法ノ趣旨ナンデアリマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ和議ノヤリ方デスネ、詰リ何トカ和議ノ率ト云ツテハヤカシイガ、半分切捨テルトカ、三分ノ一切切捨テルトカ、ソレハ見込ニ依ツテ色々違ヒマセウガ、ドウ云フ風ニ御立テニナル御積リデスカ、此處ニハ「公平に分擔せしむ」トアリマスガ、債務者ト債權者ガ公平ニ分擔スルト云フノハドウナ意味デスカ、半分ニスルト云フノデアリマスカ、七分三分ニ付キマシテハ、全然此處ニ觸レテ居リマセヌ、唯今ノ大體ノヤリ方ヲ申シマス、和議ノ申立ヲ致シマス、大體ニ於テ強制執行トカ、或ハ競賣法デアルトカ、假若押テアルトカ、假處分デアルトカ、サウ云ツタモノヲ一應全部中止シ、或ハ止メテ何シマス、ソレカラ各債權者ニ債權ノ届出ヲ致シマシテ、サウシテ債務者ノ資産ヲ十分調査致シマシテ、此ノ位ノ條件デ各債權者ニ待ツテ置フトカ、或ハ一部分切捨テデ置フトカ、サウ云フ和議條件ヲ提出致シマシテ、債權者ノ集會ニ於キマシテ、其ノ程度ノモノデアレバ宜シイト云フコトデアレバ、其ノ條件ヲ可決スル、或ハソレレイケナケレバ否決スルト云フコトニナリマシテ、可決ニナマサルト云フコトニ依ツテ和議ガ成立スルコトニナリマスガ、更ニ此ノ法案ニ於キマシテハ、其ノ間債權者團體ト債

權者ト云フモノヲ作リマシ

務者トノ間ノ中立ツテ調停ノ所謂調
解ト云フ名前ニシテ居リマスガ、調停
ノ勞ヲ取ツテ、其ノ間ノ協定ヲ成立シ
易ク、色々調停ノ勞ヲ取ルト云フ風ナ
新シイ試ミモ設ケタノデアリマス、尙
現在ノ和議法ニ致シマス、各債權者
ノ率ガ平等ナクバナリマセヌ、例
ヘバ一割切捨タルト云フコトデアレ
バ、ドノ債權者モ、大口モ小口ノ債權
者モ皆一割ト云フコトニ相成ルノデア
リマスガ、此ノ五條等ニ依リマシテ、
大口ト小口ノ間ニ於テ或差等ガアツテ
モ、全體トシテ公平ヲ失ハナイト云フ
風ニ考ヘラレマス場合ニ於テハ、多少
ノ差等ガアツテモ今回ハ宜シト云フ
風ナ特別ノ規定ヲ設ケ、或ハ又社會政
策、或ハ人道の考カラ、六條等ニ於
テモ今迄ト違ツタ或債權ニ付テノ特別
ノ規定ヲ設ケルトカ、或ハ更ニ和議
ノ成立ニ便宜デアアル爲ニ、現在デアリ
マス、和議ヲ認可スル爲ニハ、出席
和議債權者ノ過半數デ、而モ其ノ債權
ガ届出債權ノ四分ノ三以上ノ同意ガナ
ケレバナリナイン、今回ハ總債權ノ
半額以上ノ同意ガアレバ宜シト云フ
風ニ、和議ノ成立ニ容易イヤウナ規定
ヲ設ケ、尙場合ニ依リマシテハ裁判所
ノ方デ和議條件ヲ修正スルコト
モ出來マスシ、又其ノ條件ニ基イテ、
假令債權者ノ方デ之ヲ否決シタ場合デ
モ、場合ニ依リマシテハ裁判所ノ方デ
之ヲ認可シテ和議ヲ成立セシメルコト
モ出來ルト云フ、相當強イ力ヲ裁判所
ニ與ヘルト云フ風ナ方法等、其ノ他二
三ノ點ニ付テ現在ノ和議法トハ非常ニ
違ツタ工夫ヲ凝ラシテ、結局要スルニ
成ルベク和議ノ成立シ易イヤウニ工夫
シタ譯デアリマス

ヲ伺ツテ恐縮デアリマスガ、第五條ノ
「債權者間ニ差等があつても」ト云フコ
トハ大變目ニ付クノデアリマスガ、何
カ債權者ニ差等ヲ付ケル具體的ナ標準
ハアリマスバマイカ、茲ニ色々ナコトガ
書イテアリマスケレドモ、ドウモ私ハ
意味ガ呑込メナイノデアリマスガ、貧
乏ナモノハ澤山ヤルトカ云フナラマダ
分ツテ居リマスガ、サウデモナイヤウ
デアリマスシ、何ナ素人ノ分リ易ク此
ノ差等ヲ付ケル意味ヲ御説明願ヒマス
○政府委員(奥野健一君) 實ハ此ノ用
例ハ、既ニ戰時民事特別法ト云フモノ
ガアリマス、其ノ十三條ト云フモノ
其ノ先例ニナツテ居ルノデアリマス
ガ、必ズシニ債權者ノ大口、小口ト云
フコトダケデ差等ヲ設ケルトモ限リマ
セヌ、此處ニアリマスヤウナ債權ノ額
ハ、勿論債權發生ノ時期トカ、或ハ擔
保ガアルカナイカ、其ノ他各般ノ事情
デ、場合ニ依ツテハ一律平等デナクテ
モ差等ヲ設ケテモ、結局ニ於テ公平ニ
反シナイト云フ風ニ、大乗のニヤレル
場合ニ於テハ、サウ云フ和議條件ノ場
合デモ、之ヲ決定或ハ認可シテ差支ガ
ナイト云フノデ、一律ニドウ云フ風
ニト云フコトヲ具體的ニ表ハスコト
ガチヨット出來マセヌノデ、諸般ノ事
情ヲ斟酌シテ、必ズシモ一律平等デナ
クテモ宜シト云フ趣旨デアリマス

○子爵大河内輝雄君 是ハ今迄先例ガ
アルサウデスガ、ソレノ實際ノ執行ノ
狀況ハドンナ風ニヤツテ居リマスカ
○政府委員(奥野健一君) 其ノ先例ト
申シマシタノハ、戰時中ノ戰時民事特
別法第十三條第二項ト云フノデアリマ
スガ、之ニ付テハ今統計ハチヨット手
許ニアリマセヌガ、大體戰時中デアリ
マシタノデ、サウ云フ和議ノ事件ガ殆
ド無カッタノデハナイカト考ヘマス
○子爵大河内輝雄君 ドウモ其ノ區分
ガ私ニハチツト呑込メ難ネルノデス
ガ、差等ヲ附ケナイト云フノナラバ、
良イカ悪イカハ別トシテ能ク分リマス
ケレドモ、附ケルトナルト今迄ヤツタ
先例モ無イノデシ、茲ニ新シク問題ガ
起ツテ來テ、サウシテ何カ斯ウ云フコ
トヲヤル趣意ガ何處ニアルノダカ甚ダ
捕捉スルニ苦シムノデス、例ヘバ債權
ノ對象ダツテ、何モ澤山貸シタ人ガ必
ズシモ金持ダト云フ譯デヤナシ、發生
ノ時期ト云フモノ、何時發生シタト云
フモノ、債務ニ變リハ無イシ、擔保權ノ
有無ト云フモノ、ソレモ色々ナ事情カ
ラ來ルノデ、擔保ヲ取ツタ人ガ必ズシ
モ有利ナ地位ヲ占メルト云フ譯デハナ
イ、何ダカラカシナ話デ、戰時補償ト
カ、色々特殊ノ事情ニアリマセウカ
ラ、之ヲ特別ノ和議ノ條件ニ持ツテ行
クノモ不思議ナヤウニ思ヒマス、斯ウ
云フ譯デカラスウ云フ差等ヲ附ケルノ
ダト云フ、何カモウ少シ一貫シタ理論
ハ無イモノデセウカ

○政府委員(奥野健一君) 例ヘバ金融
機關再建整備法案ニ於キマシテモ、
大口ノ預金者ト小口ノ預金者トノ間ニ
於テ、サウ云フ債權ヲ打切ル額ガ大分
差等ヲ設ケテ規定サレテ居リマス、大
口ノモノト小口ノモノトヲ一律ニ一割
打切ルト云フヤウナコトハ、却テ實質
的ナ公平ヲ得ル途デアナイト考ヘマス
シ、古イ債權ト新シイ債權、或ハ利息
ノ有無トカ、或ハ擔保權ヲ持ツテ居ル
モノト、擔保權ノ全然無イモノト一律
ニ取扱フト云フコトモ、却テ實質的ニ
公平デアナイト云フ風ニ考ヘマシテ、
斯ウ云フ立案ヲ致シタノデアリマス
ガ、具體的ナ場合々々ニサウ云フ或程
度ノ差別ヲ附ケマシテモ、結局ニ於テ
是ガ公平デアリ、債權者ノ安定ヲ得セ
シムル目的ヲ達スルニ適當デアルト云
フ場合、各場合々々ニ於テ、ソレヲ認
可スル、或ハ可決スル等ノ具體的ナ場
合ニ任スト云フ意味デアリマシテ、チ
ヨット茲ニ其ノ標準ヲ一律ニ立法スル
コトハ稍、困難デアリマシテ、斯ウ云
フ條文ニナツタ次第デアルト御了
承願ヒマス

○子爵大河内輝雄君 此ノ頃財政方法
ニ多イノデスガ、銀行デアノ三千圓以
下ノ預金ヲ取ツタガ、預金帳ニ書イテ
アルノハモウ其ノ儘ニ放ツテ置クト云
フヤウナ譯デ、第二封鎖ニ入ラナカッ
タリシタト云フヤウナ關係モアリマス
ガ、段々伺ツテ見ルト、詰リ仕事ガ
多クナツテ面倒臭イカラト云フヤウナ
コトニ歸著スルノデ、ソレモ一ツ
ノヤリ方デ、必ズシモソレハ怪シ
カラヌデヤナイイカト云フ程私モ野
暮ナコトハ申シタクナイノデアリ
マスガ、斯ウ云フヤウナ個々ノ債
權者ニ對シテ面倒臭イカラト云
フ風ナ意味ハ少シモ含ンデナイノデ、
詰リ何處迄モ公平ニ條理ヲ以テヤツテ
行カウト云フヤウナ意味ナノデゴザイ
マセウ、例ヘバ餘リ小口ノモノヲ一々
ヤツテ居タラ大變ダカラト云フヤウナコ
トダトハハイケマセヌガ、ドンナコト
ナノデセウカ、大體ノ御考ヲ伺ヒタイ
○政府委員(奥野健一君) 是ハサウ云
フ考デアリマセヌデ、小口ノ債權者
ノ方ニ厚ク、寧ロ小口ノ債權者ノ切捨
等ノ場合ニ於テノ割合ハ大口ヨリモ少
ク、或ハ辨濟期等モ小口ノ債權者ノ方
ガ困ツテ居ル場合ガ多イデアリマセウ
シ、サウ云フ辨濟期ノ猶豫ヲ求メル場
合等ハ、大口ヨリモ小口ノ債權者ノ方

ニ先ニ辨濟スルト云フ風ナコトモ考ヘ
テ居ル譯デアリマシテ、是ハ面倒ダカ
ラト云フノデアナクテ、寧ロサウ云フ
小口ノ債權者等ヲ場合ニ依ツテハ、大
口ヨリモ多ク保護シテモ、結局大乗の
ニ見テ公平デアルト云フ場合ニ、サウ
云フ差等ヲ設ケ得ルト云フ途ヲ拓イタ
ノデアリマス

○子爵大河内輝雄君 是ハ國務大臣ニ
申述ベマスガ、ドウモ此ノ全體ノ規定
ヲ通覽シテ見マス、公平ヲ失シタ箇
所ガ大分アル、是等ハモウ大臣自身御
認ノコトト思ヒマス、デスカラ此ノ運
用ヲサレルニ付テハ、餘程サウ云フヤ
ウナ點ヲ御斟酌下サツテ、公平ニヤツ
テ戴カナイト、詰リ今迄ノヤウニ三千
圓以下ノ預金帳ハ、面倒臭イカラ放ツ
テ置クノダトカ、ソレカラ火災保險ダ
ツテ或程度ヨリ以下ノモノハ、ソレデ
構ハズヤルノダト云フ風ナモノニナツ
テ來テ、何モ私ハ小口ヲ特ニ保護シロ
ト云フノデアリマセヌ、小口ダツテ
三千圓以下ノ預金帳ヲ放ツテ置クト云
フノハ、小口ノ保護カラ來テ居ルノデ
アリマスカラ、成ルベク一ツハ非常
ニ大キナ變革デスカラ、面倒臭イト云
フヤウナコトハ御止メニナツテ戴キタ
イ、サウ云フ弱イモノハ面倒臭イカラ
ト云フコトニナツテ來ルト、決シテ經
濟ノ安定ニ資スル所以デアナイト思ヒ
マス、是ハマア希望トシテ述べテ置キ
マシテ、次ニ政府委員(第六條ノコト
ヲ伺ヒマスガ、此ノ六條ノ債權ヲ特別
和議カラ除カレタ理由ハ何所ニアルノ
デスカ

○政府委員(奥野健一君) 是ハ直接生
活ニ缺クベカラザル債權デアリマス
シ、又社會政策的ニ見テ、是ハ急ヲ要
スルト考ヘラレル債權デアリマスシ、

又大體ニ於テ小口ノモノガ多カラウ
トモ思ハレマスノデ、斯ウ云フモノハ
打切ノ對象ト云フコトニシナイデ、特
別ニ保護ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ思
想ハ總テ此ノ企業再建整備法並ニ金融
機關再建整備法ニ於テモ大體同様ナ思
想規定サレテ居リマス

○子爵大河内綱耕君 能ク分リマシ
タ、サウスルトトモ大ケノモノハ優先的
ニ拂ツテヤルト云フノデアリマスカ
○政府委員(奥野健一君) 左様デゴザ
イマス

○子爵大河内綱耕君 私ノ質問ハソレ
デ止メテ置キマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ實ハ財産
稅ニ關係スルコトデアリマシテ、財
產稅審議ノ場合ニ於キマシテ、優先的
ニ發言ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス
○委員(三土忠造君) 宜シウゴザイ
マス

○板谷順助君 金融機關再建整備法ノ
二十四條ニ指定債務ノ債權者ト云フ
コトガアリマスガ、是ハ如何ナルモノ
ヲ指スノカ、或ハ其ノ債權ノ金額、ソ
レヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(河野通一君) 御答ヘ申上
ゲマス、第二十四條ノ十項ニゴザイマス

指定債務ト申シマスノハ、破産法邊リ
デ申シテ居リマスル所謂共益費用ト申
シマスガ、具體的ニ申上ゲマス、今
後舊勘定ヲ整理シテ參リマス爲ニ、舊
勘定ニ屬シテ居リマスル資産ヲ管理致
シマシタリ、保全致シマシタルノニ費
用ガ掛リマス、是等ノ費用デアリマス
トカ、或ハ舊勘定ノ資産ニ關シマシ
テ、公租公課ガ掛リマス、此ノ公租公
課デアリマス、サウ云フヤウナ謂
ハ破産法デ言ツテ居リマス財團債權
的ナモノヲ、特ニ一般債務ト區別致シ

マシテ、隨時支拂フコトニ致シテ行キ
タイ、從ヒマシテ切ラレルモノ一番後デ
切ラレル、斯ウ云フ風ニ致シタイ趣旨
デアリマス

○板谷順助君 サウスルト農林中央金
庫トカ或ハ日本銀行ノ債權ハドウ云フ
御取扱ニナツテ居リマスカ

○政府委員(河野通一君) 日本銀行ガ
市中銀行ナリ其ノ他ニ對シテ持ツテ居
リマス債權ハ、所謂「インター・バン
ク」ノ關係デアリマシテ、是ハ先般御
協賛ヲ得マシテ施行致サレテ居リマス
金融機關整理應急措置法ニ依リマシテ、
新勘定ノ方ニ屬シテ居リマス、從ヒマ
シテ今般ノ此ノ整理ニ於キマシテハ金
融機關ノ舊勘定ニ屬シテ居リマス、資
產負債ノ整理ヲ中心ト致シテ居リマス
ノデ、此ノ限リニ於キマシテハ指定債
務トカ整理債務ト云フ問題ニハ觸レテ
居リマス、但シ所謂「インター・バン
ク」ノ指定ニ於キマシテモ、農林中金
庫關係トカ或ハ興業銀行ノ發行致シテ居
リマス興業債券、之ヲ金融機關ナドガ
持ツテ居リマス場合ニ、之ヲドウ云フ
風ニ取扱フカト云フコトニ付キマシテ
ハ、若干色々ナ點デ考慮ヲ要スル
點ガアリマスノデ、場合ニ依リマシテ
ハ、是等ノモノハ舊勘定ニ屬スルケレ
ドモ指定債務トシテ取扱ヒ、舊勘定ニ
屬スルケレドモ指定債務トシテ取扱
フ、斯ウ云フ取扱ニ相成ルカト思ヒマ
ス、マダ此ノ點ハ關係方面トモ色々折
衝ヲ要スル點ガアリマスノデ、マダ確
定ニ至ツテ居リマセス

○板谷順助君 其ノ債權ノ額ハ分ツタ
ラ御知ラセ願ヒマス

○政府委員(河野通一君) 債權ノ額ト
申シマス...

○板谷順助君 日本銀行、中央金庫、

興業銀行ノ今新勘定ニ移ス債權ノ額、

貸出ヲシテ居ル額、今ノ御話ハ例ヘバ
日本銀行ノ貸出ノ新勘定ニ全部御移シ
ニナルト云フガ、其ノ額...

○政府委員(河野通一君) 日本銀行ノ
市中貸出金ハチヨットハツキリシタ數
字ハ持ツテ居リマセマスガ、三百五十億
圓前後デラウト思ヒマス、農林中央金
庫ハ資料ハ持ツテ居リマセマスノデ、至
急取寄セマシテ御答ヘ申上ゲマス

○板谷順助君 ソレカラ預金部關係ニ
付テ伺ヒタイ、デスガ、預金部ノ簡易生
命保險、郵便年金貯金ガ特別會計ニ於テ
評價益ト評價損ハ一體ドウナツテ居ル
ノカ、或ハ又其ノ結果預金者ニ迷惑ハ
掛カルノカ、掛ラヌノカ、ソレヲ一ツ
御知ラセテ願ヒタイ

○政府委員(河野通一君) 預金部其ノ
他ニ付キマシテハ、大藏省預金部等損
失特別處理法案ニ書イテゴザイマス、
大體ノ處理ノ方法ハ金融機關債權處理
法ニ基テ處理ト大體ニ於テ同ジヤウナ
方針ヲ採リマス、唯ソレガ政府ノ勘定
アリマス關係デ若干異ニ致シテ居リマ
ス、此ノ整理ノ結果郵便貯金等ニ付キ
マシテハドウ云フコトニナルカト申シ
マス、郵便貯金ノ中ニ一般ノ金融機關
ニゴザイマス新勘定ニ屬シマス預金ト
同ジ性質ノモノ、即チ第一封鎖預金ニ
ナツテ居リマス郵便貯金、是ハ當然ニ
打切リノ對象ニナリマセス、從ヒマシテ
若シ之ヲ預金部ノ資産ヲ整理致シマシ
タ結果、支拂ガ出來ナイト云 場合ニ於
キマシテハ、此ノ法律ノ規定ニ依リマシ
テ政府ハ其ノ差額ニ付キマシテ補償ヲ
致スコトニ相成ツテ居リマス、第二封
鎖預金トナツテ居リマス郵便貯金等ニ
付キマシテハ、今申上ゲマスヤウナ第
一封鎖預金ニ對スル政府ノ補償ト融

機關再建整備法ニ基キマス一般金融機
關ニ對スル新勘定ノ補償ト具體的ニ申
上ゲマス、一般金融機關ノ第一封鎖
預金ト及ビ自由預金等ニ對スル補償ト
其ノ補償額ノ額ヲ合セマシテ、其ノ合
計額ガ百億ニ達シマセマシテ、其ノ合
計額ハ、其ノ差額ノ範圍内ニ於テ郵便
貯金等ノ第二封鎖預金トナツテ居ルモ
ノニ付キマシテモ之ヲ補償ヲ致ス、斯
ウ云フ取扱ニ致シタイト思ツテ居リマ
ス、尙此ノ細目ニ付キマシテハ今ノ法
律ノ第四條デ勒令デ定メル金額ノ補償
金額ヲ出ス、斯ウ云フコトニナツテ居
マスノデ、其ノ勒令デ詳シク規定ヲ致
スコトニ致シテ居リマス

○板谷順助君 預金者ハ非常ニ不安ヲ
抱イテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於
テ評價益ト評價損ト云フモノガ計數ガ
出テ居ラナケレバナラス、ソレカラ又
此ノ法案ヲ見ルト云フト、百億圓ヲ政
府ガ補償スルコトナツテ居ルケレドモ、
此ノ金額ハ諸リ金融機關ノ方ニモ一部
廻スコトニナツテ居ル、全部ノ預金部
ニ廻スコトニナツテ居ラヌノデス、ダ
カラ此ノ區別ハ一體ドウナルノカ、或
ハ百億圓ノ中ニ幾ラ廻スト云フコト
ガ、大體ノ計數ガ出ナケレバ、從ツテ
預金者ニ對スルドレダケノ損ヲ行クト
云フコトガ、アナタノ方デ大體分ツテ
居ラナケレバナラス、ダカラモット具
體的ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(河野通一君) 金融機關ノ
此ノ整理ニ依リマシテ金融機關及ビ大
藏省預金部等ニ出マス損失デ、政府
ノ補償ヲ要スル金額ガ程度ニ相成
リマスカニ付キマシテハ、先般國務
大臣カラ御話モゴザイマシタ通り、百
億ノ範圍内ニ於テ十分賄ヘルト云フ自
信ヲ持ツテ居リマス、但シ此ノ金額ガ

具體的ニドノ程度ニ及ビマスカニ付キ
マシテハ、會社企業再建整備法等ニ依
リマシテ、企業ニ幾莫ノ損失ガ出ル
カ、從ヒマシテ其ノ企業ノ損失ヲ金融
機關ハ大口ノ債權者トシテ其ノ損失ヲ
被ルコトニナリマスガ、其ノ被ル金額
ガドノ程度ニ及ブカト云フコトヲ明確
ニ致シマセスコトニハ、ハツキリシタ
數字ヲ只今ノ所申上ゲ兼ネルト思ヒ
マス

○板谷順助君 ハツキリシタ數字ガ出
ナイト云フノハ、ドウモ私共解セナイ
ノデスガ、兎ニ角評價益ト評價損ト云
フモノガ大體ニ於テ見當ガ付クデセ
ウ、從ツテ百億圓ノ補償ヲスルト云フ
コトニ付テハ、是ハ獨リ郵便貯金バカリ
デナク、一方金融機關ニ對シテモ最後
ニ補償スルト云フコトハ、是ハ此ノ明
文デ明カデアル、是等モアナタノ方ガ
今御返事ガ出來ヌナラバ、後デ宜シウ
ゴザイマスカラ、之ヲモット具體的ニ
ハツキリト御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(藤井之助君) 只今ノ點ニ
付テハ政府委員カラ申上ゲマシタヤウ
ニ、結局ハ企業再建整備法ニ及ス損失
ノ評價ガドウ云フ風ニナリ、ソレ
ニ依ツテ企業カラ金融機關ニ及ス損失
ガドノ程度ダト云フコトニ依ツテ定マ
ル譯デアリマス、只今ノ所ハ今政府委
員ガ御答ヘ申上ゲマシタヤウナ大體ノ
見込ニ於キマシテ第一封鎖預金、自由
貯金ト云フヤウナ部類及ビ一萬圓ノ限
度ニ於キマスル生命保險等ニ對シマシ
テハ金融機關方面ノ決シテハ預金者
ナリ、被保險者ナリ迷惑ヲ懸ケズニ行
ケル、斯ウ云フ見當ハ付イテ居リマス
ケレドモ、果シテ第二種ノ貯金等ニドノ
位迷惑ガ懸カルカ、又郵便貯金ノ場合

○板谷順助君 預金者ハ非常ニ不安ヲ
抱イテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於
テ評價益ト評價損ト云フモノガ計數ガ
出テ居ラナケレバナラス、ソレカラ又
此ノ法案ヲ見ルト云フト、百億圓ヲ政
府ガ補償スルコトナツテ居ルケレドモ、
此ノ金額ハ諸リ金融機關ノ方ニモ一部
廻スコトニナツテ居ル、全部ノ預金部
ニ廻スコトニナツテ居ラヌノデス、ダ
カラ此ノ區別ハ一體ドウナルノカ、或
ハ百億圓ノ中ニ幾ラ廻スト云フコト
ガ、大體ノ計數ガ出ナケレバ、從ツテ
預金者ニ對スルドレダケノ損ヲ行クト
云フコトガ、アナタノ方デ大體分ツテ
居ラナケレバナラス、ダカラモット具
體的ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(河野通一君) 金融機關ノ
此ノ整理ニ依リマシテ金融機關及ビ大
藏省預金部等ニ出マス損失デ、政府
ノ補償ヲ要スル金額ガ程度ニ相成
リマスカニ付キマシテハ、先般國務
大臣カラ御話モゴザイマシタ通り、百
億ノ範圍内ニ於テ十分賄ヘルト云フ自
信ヲ持ツテ居リマス、但シ此ノ金額ガ

具體的ニドノ程度ニ及ビマスカニ付キ
マシテハ、會社企業再建整備法等ニ依
リマシテ、企業ニ幾莫ノ損失ガ出ル
カ、從ヒマシテ其ノ企業ノ損失ヲ金融
機關ハ大口ノ債權者トシテ其ノ損失ヲ
被ルコトニナリマスガ、其ノ被ル金額
ガドノ程度ニ及ブカト云フコトヲ明確
ニ致シマセスコトニハ、ハツキリシタ
數字ヲ只今ノ所申上ゲ兼ネルト思ヒ
マス

○板谷順助君 ハツキリシタ數字ガ出
ナイト云フノハ、ドウモ私共解セナイ
ノデスガ、兎ニ角評價益ト評價損ト云
フモノガ大體ニ於テ見當ガ付クデセ
ウ、從ツテ百億圓ノ補償ヲスルト云フ
コトニ付テハ、是ハ獨リ郵便貯金バカリ
デナク、一方金融機關ニ對シテモ最後
ニ補償スルト云フコトハ、是ハ此ノ明
文デ明カデアル、是等モアナタノ方ガ
今御返事ガ出來ヌナラバ、後デ宜シウ
ゴザイマスカラ、之ヲモット具體的ニ
ハツキリト御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(藤井之助君) 只今ノ點ニ
付テハ政府委員カラ申上ゲマシタヤウ
ニ、結局ハ企業再建整備法ニ及ス損失
ノ評價ガドウ云フ風ニナリ、ソレ
ニ依ツテ企業カラ金融機關ニ及ス損失
ガドノ程度ダト云フコトニ依ツテ定マ
ル譯デアリマス、只今ノ所ハ今政府委
員ガ御答ヘ申上ゲマシタヤウナ大體ノ
見込ニ於キマシテ第一封鎖預金、自由
貯金ト云フヤウナ部類及ビ一萬圓ノ限
度ニ於キマスル生命保險等ニ對シマシ
テハ金融機關方面ノ決シテハ預金者
ナリ、被保險者ナリ迷惑ヲ懸ケズニ行
ケル、斯ウ云フ見當ハ付イテ居リマス
ケレドモ、果シテ第二種ノ貯金等ニドノ
位迷惑ガ懸カルカ、又郵便貯金ノ場合

○板谷順助君 預金者ハ非常ニ不安ヲ
抱イテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於
テ評價益ト評價損ト云フモノガ計數ガ
出テ居ラナケレバナラス、ソレカラ又
此ノ法案ヲ見ルト云フト、百億圓ヲ政
府ガ補償スルコトナツテ居ルケレドモ、
此ノ金額ハ諸リ金融機關ノ方ニモ一部
廻スコトニナツテ居ル、全部ノ預金部
ニ廻スコトニナツテ居ラヌノデス、ダ
カラ此ノ區別ハ一體ドウナルノカ、或
ハ百億圓ノ中ニ幾ラ廻スト云フコト
ガ、大體ノ計數ガ出ナケレバ、從ツテ
預金者ニ對スルドレダケノ損ヲ行クト
云フコトガ、アナタノ方デ大體分ツテ
居ラナケレバナラス、ダカラモット具
體的ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(河野通一君) 金融機關ノ
此ノ整理ニ依リマシテ金融機關及ビ大
藏省預金部等ニ出マス損失デ、政府
ノ補償ヲ要スル金額ガ程度ニ相成
リマスカニ付キマシテハ、先般國務
大臣カラ御話モゴザイマシタ通り、百
億ノ範圍内ニ於テ十分賄ヘルト云フ自
信ヲ持ツテ居リマス、但シ此ノ金額ガ

具體的ニドノ程度ニ及ビマスカニ付キ
マシテハ、會社企業再建整備法等ニ依
リマシテ、企業ニ幾莫ノ損失ガ出ル
カ、從ヒマシテ其ノ企業ノ損失ヲ金融
機關ハ大口ノ債權者トシテ其ノ損失ヲ
被ルコトニナリマスガ、其ノ被ル金額
ガドノ程度ニ及ブカト云フコトヲ明確
ニ致シマセスコトニハ、ハツキリシタ
數字ヲ只今ノ所申上ゲ兼ネルト思ヒ
マス

○板谷順助君 ハツキリシタ數字ガ出
ナイト云フノハ、ドウモ私共解セナイ
ノデスガ、兎ニ角評價益ト評價損ト云
フモノガ大體ニ於テ見當ガ付クデセ
ウ、從ツテ百億圓ノ補償ヲスルト云フ
コトニ付テハ、是ハ獨リ郵便貯金バカリ
デナク、一方金融機關ニ對シテモ最後
ニ補償スルト云フコトハ、是ハ此ノ明
文デ明カデアル、是等モアナタノ方ガ
今御返事ガ出來ヌナラバ、後デ宜シウ
ゴザイマスカラ、之ヲモット具體的ニ
ハツキリト御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(藤井之助君) 只今ノ點ニ
付テハ政府委員カラ申上ゲマシタヤウ
ニ、結局ハ企業再建整備法ニ及ス損失
ノ評價ガドウ云フ風ニナリ、ソレ
ニ依ツテ企業カラ金融機關ニ及ス損失
ガドノ程度ダト云フコトニ依ツテ定マ
ル譯デアリマス、只今ノ所ハ今政府委
員ガ御答ヘ申上ゲマシタヤウナ大體ノ
見込ニ於キマシテ第一封鎖預金、自由
貯金ト云フヤウナ部類及ビ一萬圓ノ限
度ニ於キマスル生命保險等ニ對シマシ
テハ金融機關方面ノ決シテハ預金者
ナリ、被保險者ナリ迷惑ヲ懸ケズニ行
ケル、斯ウ云フ見當ハ付イテ居リマス
ケレドモ、果シテ第二種ノ貯金等ニドノ
位迷惑ガ懸カルカ、又郵便貯金ノ場合

ニハ、今ノ第一封鎖貯金以外ノモノニ
ドノ位返セルカト云フコトハ、結局今
ハチヨット推定ガシ兼ネマスノデ、其
ノ數字ヲ明瞭ニ斯ウ云フ數字ダト云フ
コトノ計數ヲ御目ニ懸ケルコトハ至難
ト存ゼラレマスノデ、御了承ヲ戴
キタウゴザイマス

○板谷順助君 然ラバ預金部ノ金ガド
ノ方面ニ出テ居ルカ、或ハ又簡易生命
保險ガドノ方面ニ出テ居ルカト云フ其
體のナ數字ヲ御發表ヲ願ヒタイと思ヒ
マス、サウスルト大體ノ見當ガ付キ
マス

○政府委員(河野通一君) 今資料ヲ持
チマセヌデ、至急資料ヲ整ヘマシテ御
説明申上ゲマス

○板谷順助君 ソレデ宜シウゴザイマ
ス、ソレカラ此ノ金融法案ノ第四條第
一項ノ規定ニ依ツテ申出ヲ爲スベキ債
權デ、主務大臣ノ指定スル日迄ニ債權
ヲ當該金融機關ニ申出ナイ場合ハ、新
舊勸定消滅ノ日ニ消滅スル、是ハ一
體ドウ云フ意味デアリマスカ

○政府委員(河野通一君) 第四條ノ除
斥ノ問題デゴザイマスカ、消滅ト云フ
言葉ハ第四條ニ出テ參リマセサガ、
○板谷順助君 消滅ハ其ノ後ニ出テ居
リマス、第何條デシタカ、
○政府委員(河野通一君) 第三十五條
デゴザイマスカ

○板谷順助君 エ、三十五條、
○政府委員(河野通一君) 御説明申上
ゲマス、申出ヲ要スル債權ト申シマス
ルノハ金融機關ノ方デ債權者デアルカ
ドウカ分ナリヤウナモノヲ大體考ヘ
テ居リマス、從ヒマシテ預金者デアリマ
ストカ金融債ノ所有者デアリマスルト
カ、金融機關ガ舊勸定ノ債權者ニナツ
テ居リマス場合ハ金融機關デアリマ

ストカ、サウス云フモノニ付キマシテハ
申出ヲ要シナイコトニナツテ居リマ
ス、從ヒマシテ金融機關ニ關シマスル
限リハ、殆ド大部分ノモノガ申出ヲ要
シナイコトニ相成ルト思ヒマス、申出
ヲ要スルモノハ、例ヘバ一般ノ買入債
務、何カ物ヲ買ツタ場合ノ其ノ債權者
デアリマスストカ、サウス云フヤウナモノ
ヲ大體考ヘテ居リマス、是等ノモノニ
付キマシテハ一定ノ期間ニ申出ヲシマ
セヌ場合ハ先ヅ舊勸定ノ整理カラ除斥
ヲサレル、除斥ヲサレマシタモノガ第
三十五條ニ依リマシテ一定ノ場合ニ、
詰リ整理ヲ致シマシテ、尙積立金ガ若
干殘ツテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテ
ハ、其ノ積立金ノ範圍内ニ於テ他ノ整
理債務ト同ジヤウナ條件ニ於テ支拂ヲ
受ケル、積立金ノ殘ツテ居リマスル範
圍ニ於キマシテ受ケル、ソレデ尙受ケ
ラレナカツタ場合ニ於キマシテハ一般
ノ整理ノ債務ガ俗ニ申シマシテ打切ラ
レル、詰リ消滅致シマスト同ジヤウナ
意味ニ於キマシテ其ノ債權ガ消滅サレ
ル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○板谷順助君 私ハ此ノ條項ヲ金融機
關側カラ行ケバ債務デアルガ、預金者
側カラ行ケバ債權デアルト云フヤウナ
關係カラ第二封鎖貯金ヲ若シ申出ナカ
ツタナラバ消滅スルト云フヤウナ意味
ニ解釋シテ居ツタノデ、ソナコ
トハアリマセヌカ

○政府委員(河野通一君) 只今申上ゲ
マシタ通り此ノ第一項ニ勸令決定メ
モノトナツテ居リマス其ノ勸令デハ、
今ノ預貯金者等ハ除外致シマス
○板谷順助君 其ノ次ニ伺ヒタイノハ
企業再建整備案ノ問題デアリマス、是ハ
御承知ノ通り資産ノ評價ト云フコトガ
重大問題デアツテ、此ノ評價ノ如何ニ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○國務大臣(陸桂之助君) 御尋ノ資産
評價ノ點ガ今回ノ總テノ整備ノ中心ヲ
爲シマス問題デ、モウ此ノ法案ト同時
ニ一ツノ標準ヲ一ツ政府ノ方デモ定メ
テ置イテ、御示シモシタイ位ニ思ツテ
居ツタノデアリマスガ、マダ關係方面
トノ完全ナ了解迄達シテ居リマセ
ヌ、遺憾ナガラマダ今日迄標準ヲ示
コトハ出來マセヌケレドモ、政府モ全
ク同感デアリマシテ、是ハ債權者ト企
業主ノ間ノ協議ニ依ツテ整理計畫ニ一
應書キマシテ、ソレヲ政府ガ認可スル
コトニ相成ツテ效力ヲ發スルノデアリ
マス、其ノ認可ニ當リマシテモ、又評
定協議スルニモ、一定ノ標準ガナケレ
バイケナイト存ジマシテ、其ノ標準ヲ
作ル積リデ居リマス、只今申上ゲマス
ヤウナ事情デマダ決定ニナツテ居リマ
セヌ、遠カラズ是ハ決定致シマス、其
ノ場合ニ考ヘマスコトハ、申上ゲル迄
モナク餘リニ評價ノ嚴重ニシマス、
不當ニ銀行等ノ債權者ニ刺戟ヲ與ヘマ
ス、又之ヲ餘リニ緩ヤカニヤリマス
ト、折角ノ擬制資本ノ打切リト云フコ
トガ將來ニ禍ヲ爲シマスノデ、其ノ邊
ハ慎重ニ見合ヒマシテ、何レニ致シマ
シテモ其ノ評價標準ニ付キマシテハ、
政府デ標準ヲ定メマシテ、一應此ノ經
濟再建整備委員會ニ付議致シマシテ、
決定致シマシテ、ソレデ其ノ標準ヲバ
定メタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○委員(三土忠造君) 先刻板谷委員
カラ御注文デアツタ、預金部ノ資金ノ
運用ノ御答ガ出來ルサウデアリマスガ
ラ、此ノ場合ニドウウ、
○政府委員(福田越夫君) 預金部ノ本
年七月末ニ於ケル運用狀況ヲ申上ゲマ
ス、資金ノ合計額ハ六百五十七億圓デ
アリマシテ、其ノ中國債證券ノ投資シ

テ居ル額ガ四百九十六億圓、ソレカラ
一般會計及ビ特別會計等ニ貸付シテ
居ル額ガ二十億圓、ソレカラ地方債、
地方公共團體ヘノ貸付額ガ四十二億、
特殊銀行等ノ債權及ビ貸付金等ガ四十
二億、ソレカラ特殊會社等ノ債權及ビ
貸付金ガ三十二億、ソレカラ、
○板谷順助君 途中デアリマスケレド
モ、ドウカソレヲ印刷ニシテ配ツテ下
サイ
○政府委員(福田越夫君) ソレナラ後
デ提出致シマス

○委員(三土忠造君) チョット御諮
リ致シマスガ、板谷委員ノ二三點質問
ガ殘ツテ居リマスケレドモ、今日ハ議
長ノ招待デスネ、今日議長ノ招待ガ濟
ンデ、一時半ニ調査會、總理大臣、大
藏大臣、國務大臣、商工大臣ガ出席
サレマシテ、經濟ヲ御話ニナリ、ソレ
ガ約二時間掛カル、此ノ委員會ハ三時
半迄休ミマシテ、三時半以後ニ又再開
致シマス、ソレ迄休憩致シマス

午後三時三十七分開會
○委員(三土忠造君) ソレデハ是ニ
テ散會致シマス、明日ハ午前十時開會
致シマス

午後三時三十八分散會
委員長 三土 忠造君
副委員長 男爵高崎 弓彦君
委員 侯爵池田 宣政君
侯爵西郷吉之助君
侯爵鍋島 直泰君
伯爵三荒 芳徳君
伯爵黒田 清君
子爵大河内輝耕君
子爵京極 高修君

○政府委員(河野通一君) 只今申上ゲ
マシタ通り此ノ第一項ニ勸令決定メ
モノトナツテ居リマス其ノ勸令デハ、
今ノ預貯金者等ハ除外致シマス
○板谷順助君 其ノ次ニ伺ヒタイノハ
企業再建整備案ノ問題デアリマス、是ハ
御承知ノ通り資産ノ評價ト云フコトガ
重大問題デアツテ、此ノ評價ノ如何ニ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

依ツテ有ラユル方面ニ重大ナ影響ガ來
ル譯デアリマス、始メ商工當局ノ説明
デハ、現在貨幣價值ハ下ツテ居ル、從
ツテ物價ハ騰ツテ居ルト云フヤウナ關
係カラ、時價ニ評價スルナラバ大體ニ
於テ補償ヲ打切ツテモ損失ガナイト云
フヤウナ説明ヲシテ居ル、恐ラクハ賄
國務大臣モ其ノ當時ハサウス云フ風ナ御
考デアツタデアリマセウガ、或ハ關係
筋方面ノ色々ノ交渉ノ結果ドウ云フ方
針ニ定メラレタノカ、唯此ノ法案ヲ見
チハハツキリシテ居ラヌ、其ノ詰リ基
準ト云フモノガハツキリシテ居ラヌ、
債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ協定シテ
之ヲ決メルト云フヤウナ意味ノ程度デ
ナイノデアリマス、デアルカラシテ今
日此ノ日本ノ財界ヲ洗ヒ波ヒ整理スル
ト云フコトニ付テハ、若シ是ガ擬制資
本トナツテ將來ノ禍ヲ爲スヤウナコト
ニナツテハ、折角ノ此ノ金デト云フモ
ノガ水泡ニ歸スル、斯ウ云フ結果ニナ
ル、私ハサウス考ヘテ居ルノデ、ソレ
カラ又一方ニ於テハ所謂記帳價格ニ依
ル、記帳價格ニ依ルト申シマシテモ戰
前ノ記帳價格ト戰後ニ於ケル記帳價格
ニ於テハ非常ノ相違アル、所謂戰後
ニ於ケル記帳價格ナルモノハ、水膨レ
ノ所謂擬制資本ト稱セラレルモノガ多
イノデアリマスルガ、大體此ノ企業ヲ
整理スルト云フコトニ付テハ先ヅ第一
ニ不動產ノ價格ノ如何ニ協定スルカ、
大體ニ於テ其標準ヲ御定メナラヌト云
フト、債權者ト債務者ノ間ニ御互ニ話
合ヘト申シマシテモ、恐ラクハ雙方ト
モ損害ヲ少クスルヤウニ、或程度迄妥
協的ニ之ヲ相當ノ價格ニ見ル、斯ウ云
フ結果ニナルノデヤナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ國務大臣
ハ如何ニ御考ニナリマスカ

子爵瀧脇 宏光君	子爵綾小路 護君	子爵梅溪 通虎君	慶松勝左衛門君	男爵周布 兼道君	長谷川 起夫君	男爵八代五郎造君	男爵中村 貫之君	男爵林 忠一君	男爵倉富 鈞君	男爵宮原 旭君	黒田 英雄君	板谷 順助君	橋本辰二郎君	河西豐太郎君	小山 完吉君	高橋龍太郎君	有馬忠三郎君	中島德太郎君	片岡 直方君	片倉兼太郎君	河端作兵衛君	岸本 彦衛君	松岡 潤吉君	上野喜左衛門君
國務大臣	內閣總理大臣兼 外務大臣	國務大臣	政府委員	大藏事務官	同	同	同	同	司法事務官	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君	吉田 茂君